

参考 資料

※Usb-HUB28の
取扱説明書ではありません。

MT-planning
information + space + people

Usb-HUB28

**28s iPad Charge and Synchronize usb hub box
1.1A iPad Charge Available**

IPC-USB001-28

付録

Usb-HUB28を利用したApple Configuratorの使い方

Apple Configurator1.3

※Apple Configuratorはアップル社の製品であり、本付録はUsb-HUB28を利用してApple Configuratorを使う場合の使い方を説明しているものです。Apple Configurator自体の技術的な質問に関してはアップル社にお問い合わせください。

※Apple Configuratorのバージョンは1.3です。

目次

1.はじめに	P3
1-1：ご注意	P3
1-2：ソフトウェア及び管理用PCについて	P3
1-3：設定の基本的な流れ	P4
2.準備画面の設定	P6
2-1：1台目のiPadの設定	P6
2-2：2台目以降のiPadの設定	P11
3.プロファイルの設定 とアプリのインストール	P14
3-1：プロファイルの設定	P14
3-2：アプリのインストール	P17
4.ユーザーの作成方法 とチェックアウト・チェックイン	P19
4-1：ユーザーの作成方法	P19
4-2：チェックアウトとチェックイン	P20

2013年7月20日現在、Apple Configurator 1.3では、アプリ内の書類の同期に不具合が発生しております。この問題が解決しましたら、5.アプリ内の書類の同期方法の解説を追加する予定です。

この問題の詳細に関してははアップル社にお問い合わせください。弊社へのお問い合わせはご遠慮願います。

弊社ウェブサイトでは、Usb-HUB28を利用したApple Configuratorの使い方動画を公開しています。
<http://www.mt-planning.com/products/usb-hub28/movie.html>

利用時の参考資料としてご活用ください。

注意：本書は、参考資料として提示しているものであり、Apple Configurator自体に関する弊社へのご質問には応じかねます。アップル社にお問い合わせください。

1

はじめに

1. ご注意

Apple Configuratorはアップル社の製品です。
基本的な使い方はアップル社のウェブサイトをご覧ください。

弊社ではご利用時に利用方法の参考資料として、
弊社独自で調査した利用方法を、弊社ウェブサイトでPDF及び動画にて公開しています。

Apple Configuratorのバージョンが新しくなった場合、
最新情報の更新を予定していますが、更新に時間を要する場合があります。
ご理解のほどよろしくお願いいたします

ご注意：Apple Configuratorの不具合に関する弊社へのお問い合わせはご遠慮願います。

2. ソフトウェア及び管理用PCについて

本書で動作確認ができているソフトウェア及び管理用PCのスペックは以下の通りとなります。

iOS

iOS6.1.3

Apple Configurator

Apple
Configurator 1.3

Macintosh

MacBook Air
Core2Duo 1.4GHz
メモリ：2GB

※MAC OS 10.7.5 以降

3.設定の基本的な流れ

最初に、すべてのiPadを監視状態にします。次にプロファイルを設定し、アプリをインストールして、ユーザーを作成し、チェックアウト作業に続きます。

1. iPadを監視状態にするための設定

最初に1台の設定を行ったあとに、バックアップを作成し、そのバックアップをもとに、2台目以降の設定を行います。

1台目の設定



Apple Configurator

準備画面で
初期設定
を行う



iPad

初期設定
を行う



Apple Configurator

更新してから、
バックアップ
をとる

2台目以降の設定



Apple Configurator

準備画面で
バックアップ
から復元させる

2台目以降は、すべてのiPadをUsb-HUB28に接続し、一括でバックアップさせます。



2.プロファイルの設定とアプリのインストール

すべてのiPadが監視状態になったら、一括でプロファイル設定とアプリのインストールを行います。



3.ユーザーの作成とチェックアウト・チェックイン

割り当て画面で、ユーザーを作成し、iPadにユーザーを割り当てます。

複数台iPadとのデータの一括同期の注意

- データの一括同期をする際は、本製品の「データ通信モード」でご利用ください。（Usb-HUB28取扱説明書 P10参照のこと）
- データ通信モード時は「データ通信時差処理」が行われることにご注意ください。（Usb-HUB28取扱説明書 P13参照のこと）
- 各ソフトウェア、OSについてのお問い合わせは、各製造元もしくは、販売店にご相談ください。



2

準備画面の設定

1.1 台目のiPadの設定

1. 準備画面でバックアップするiPadの設定をする



準備画面を開きます。

- ① 名前を入力
- ② 監視をオンに設定。



※この付録では、監視する状態を設定します。

- ③ 「バックアップを復元しない」を選択

まずここまで設定します。
まだ、準備ボタンは押さないでください。

2. Usb-HUB28の準備をする



iPadを1台だけ、Usb-HUB28の第1ポートに接続してください。



Usb-HUB28付属の電源コードを、本体に接続し、コンセントに差し込んでください。

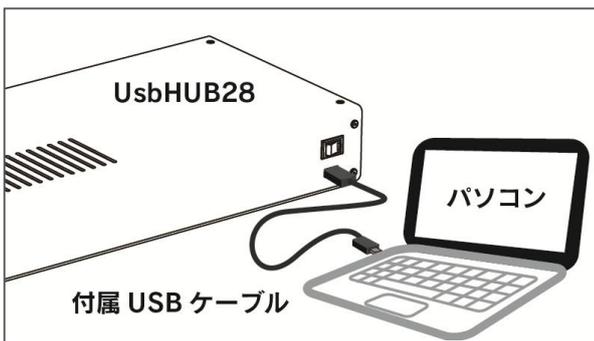


電源プラグはしっかり奥まで差し込む。



モード切り替えスイッチが『**充電モード**』になっていることを確認してください。

オレンジ色のランプが点灯します。



パソコンとUsb-HUB28を付属のUSBケーブルで接続します。



モード切り替えスイッチを『**データ通信モード**』にします。

ランプが消灯します。

45秒
時差

データ通信モードの「データ通信時差処理」について

本製品はWindowsなどホストPC側の処理が適切に行われるように、7ポート毎、45秒おきに接続処理が実行されます。

詳しくは取扱説明書P13の「データ通信時差処理」をご覧ください。

4.準備ボタンを押して、監視状態にする



準備画面を開きます。

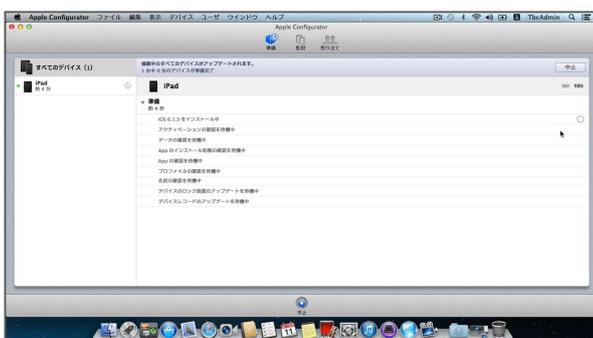
- 1 画面上部の「準備」ボタンに、iPadの接続台数が表示されていることを確認します。



- 2 画面下の中央にある「準備」ボタンを押します。

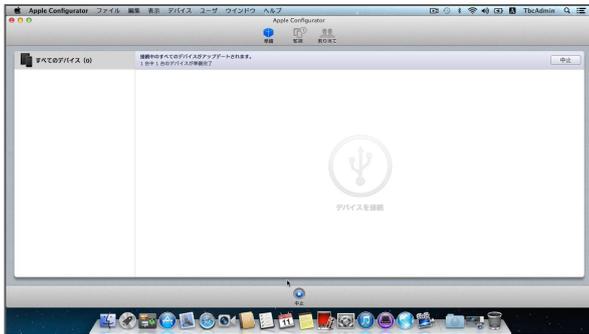


「USB接続されたすべてのデバイスにこれらの設定を適用してもよろしいですか?」というダイアログが表示されるので、「適用」を押します。



画面表示が切り替わります。

準備作業中は、左カラムにデバイスが表示され、右カラムにはそのデバイスのステータスが表示されます。



デバイスの準備作業が完了すると、画面上の「準備」から数字が消え、「監視」が適用されたデバイスの台数が表示されます。



この状態では、「監視」ボタンも「割り当て」ボタンを押しても反応しません。

デバイスの監視準備自体は完了していますので、画面下のクルクル回っている中止ボタンを押して作業を完了します。

これで1台目のiPadを監視状態にすることができました。

ここで一旦、Apple Configuratorを終了します。

次は監視状態のiPadの設定をします。

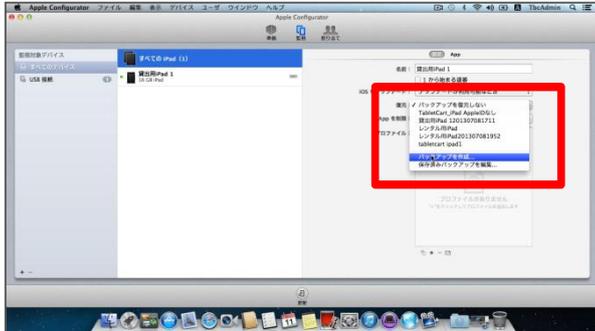
5. iPadの初期設定をする



iPadの画面に従って初期設定をしてください。

初期設定が完了したら、次はバックアップデータをApple Configuratorで作成します。

6.バックアップデータを作成する



Apple Configuratorを起動します。

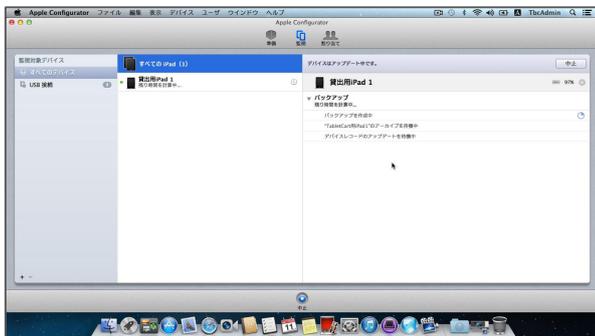
先程、監視状態にしたiPadの更新が始まります。更新が終わるまでお待ちください。

更新が完了したら、復元のプルダウンメニューから「バックアップを作成」を選択します。



バックアップ名を入力してください。

「バックアップを作成」ボタンをクリックしてください。



バックアップの作成が開始されます。

完了したら元の画面に戻ります。

これでバックアップデータが作成できました。

2.2台目以降のiPadの設定

1.Usb-HUB28に2台目以降のiPadを接続する



モード切り替えスイッチを
『充電モード』にしてください。

ランプが点灯します。



Usb-HUB28付属の電源コードを、本体
から抜いてください。



2台目以降のiPadを接続してください。

第1ポートグループ（左上）、

第2ポートグループ（右上）、

第3ポートグループ（左下）、

第4ポートグループ（右下）

の順番に差し込んでください。

※Usb-HUB28取扱説明書P13をご覧ください。



電源コードを抜いてから、約5分後に、
再び電源コードを、本体に接続してくだ
さい。

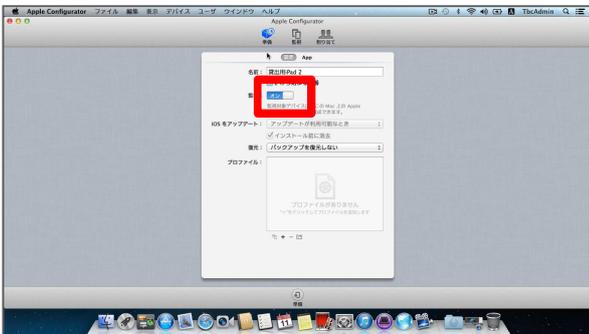
2.バックアップデータから復元して、準備作業を進める



Apple Configuratorの画面上的「準備ボタン」に接続したデバイスの数が表示されます。



接続したiPadと同じ数であることを確認してください。



名前は入力しないで、監視をオンにします。



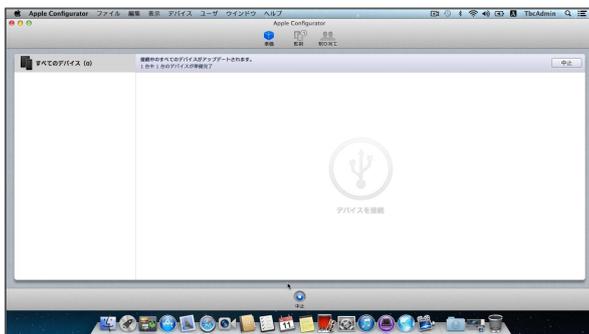
復元のプルダウンメニューから、先程作成した、バックアップ名を選択します。



最後に、名前は最初に作成した名称に2が付いていることと、その下の「2から始まる連番」にチェックが入っていることを確認します。

画面例では、「貸出用iPad2」となっています。

確認が終わりましたら、画面下中央の「準備」ボタンを押してください。



4台の監視が完了すると、デバイスが表示されなくなります。



デバイスの監視準備は完了していますので、画面下のクルクル回っている中止ボタンを押して作業を完了します。

これで2台目以降のiPadを監視状態にすることができました。

3 プロファイルの設定とアプリのインストール

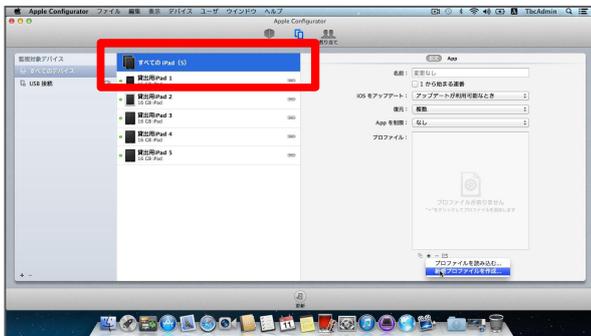
1. プロファイルの設定

プロファイルでは様々な設定ができます。
本書では、接続しているすべてのiPadに対して、
プロファイルの「制限」と「Wi-Fi」を設定する方法をご紹介します。

アプリは例としてAdobe Readerをインストールする方法をご説明します。

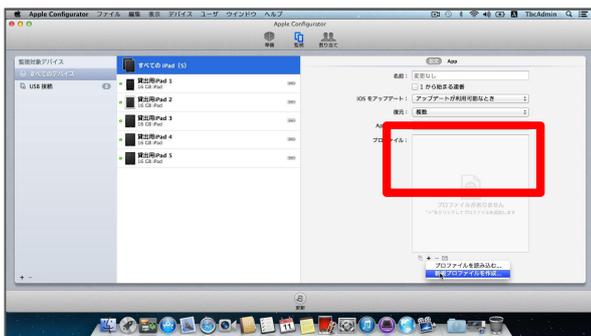
ここで紹介している他にも様々な設定項目があります。
詳しい設定項目や、設定方法については、Appleのサイトをご覧ください。

1. Apple Configuratorの監視画面を開く

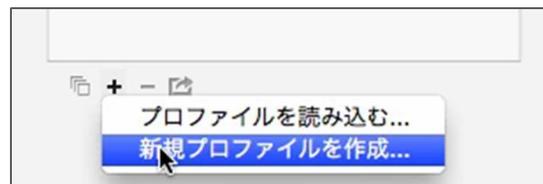


監視画面で、真ん中のカラムに接続したiPadが表示されていることを確認します。

すべてのiPadを同じ状態にしたい場合は、一番上の「すべてのiPad」と書かれているところをクリックして、選択状態にします。



次に、右カラムの一番下にある「+」ボタンを押して、「新規プロファイルを作成」をクリックします。



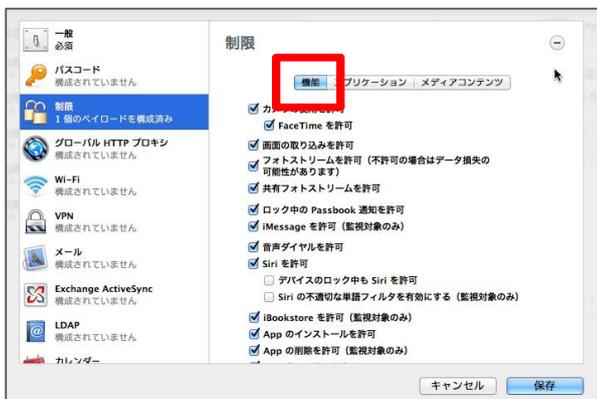
2. プロファイルの設定画面



左ナビから「一般」を選択します。

名前を入力してください。

他にも設定できる項目があります。
詳しくはAppleのサイトをご覧ください。



左ナビから「制限」を選択します。

「機能」タブが表示されています。
カメラやSiriを使えないようにしたり、iPadでアプリのインストールや削除ができないようにすることができます。

詳しくはAppleのサイトをご覧ください。



「アプリケーション」タブをクリックします。

YouTube、iTunesストア、Game Center、Safariなどを使えないようにすることができます。

詳しくはAppleのサイトをご覧ください。



「メディア・コンテンツ」タブをクリックします。

不適切なコンテンツを制限する設定などができます。

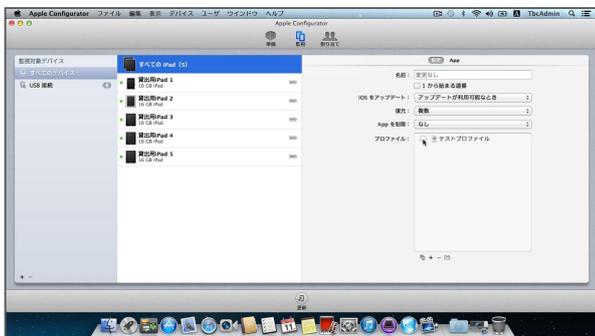
詳しくはAppleのサイトをご覧ください。



左ナビから「Wi-Fi」を選択します。

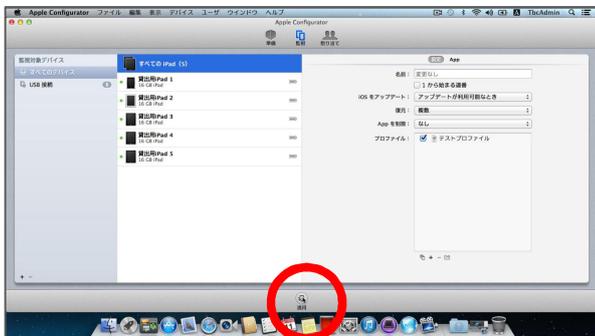
環境にあわせた情報を入力してください。

設定が完了したら、画面右下の「保存」ボタンを押します。



保存すると、画面が元に戻ります。

プロファイルの項目に、作成したプロファイルが表示されます。



適用したいプロファイルにチェックを入れたのち、画面下の「適用」ボタンを押してください。



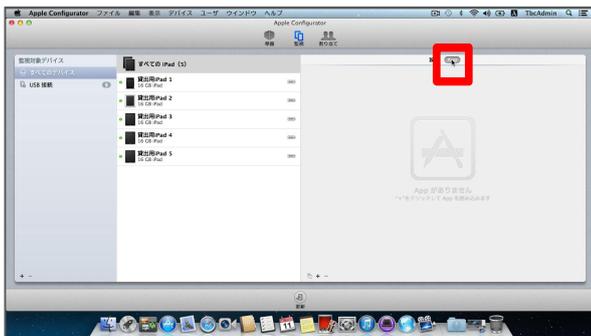
適用作業が開始されます。

接続台数が多いと時間がかかりますので、待ちます。

作業が完了すると、元の画面に戻ります。これでプロファイルの設定は完了です。

2.アプリのインストール

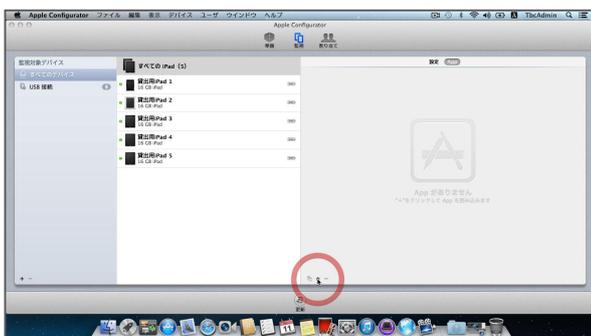
1.Apple Configuratorの監視画面を開く



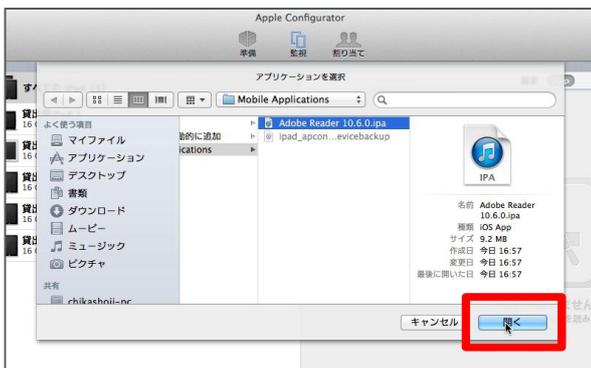
監視画面の右側にある「App」タブをクリックしてください。



「Appがありません」と表示されます。



アプリをインストールするためには、右カラムの左下にある「+」ボタンを押してください。



アプリケーション選択画面が表示されますので、「Mobile Applications」フォルダ内にある拡張子が.ipaのファイルを選択します。インストールする.ipaファイルをクリックしてください。

本書では、Adobe Readerを選択します。

選択したら「開く」をクリックしてください。



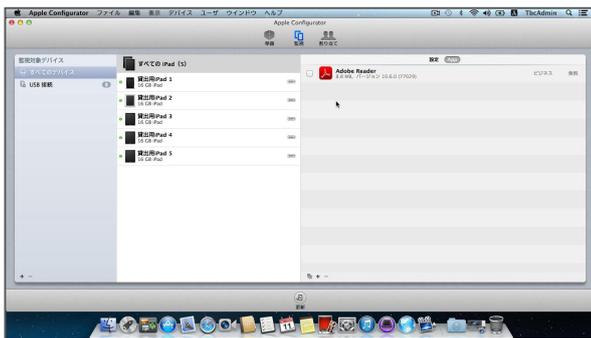
アプリはあらかじめiTunesでダウンロードしてください。

iTunesを使ってのアプリのダウンロードから、Apple Configuratorでのアプリのインストールについては、弊社サイトに公開している動画「Apple Configuratorの使い方3」で詳しくご説明しています。

<http://www.mt-planning.com/products/usb-hub28/movie.html>

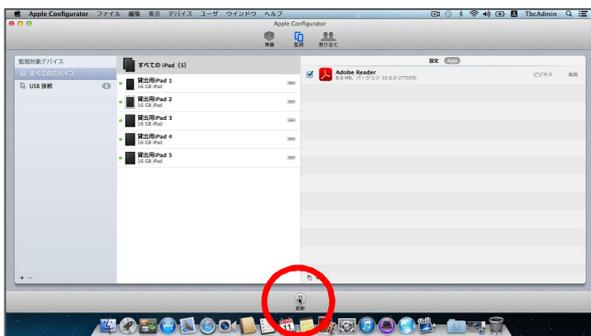


「App StoreからAppを配布するにはサインインしてください。」ダイアログが表示されますので、iTunesでダウンロードしたときと同じ Apple IDとパスワードを使用してください。



右カラムにAdobe Readerが表示されています。

インストールしたいアプリにチェックを入れてください。



画面下中央の「更新」ボタンを押してください。



適用作業が開始されます。

接続台数が多い場合、時間がかかりますので、お待ちください。

作業が完了すると、元の画面に戻ります。これでアプリのインストールは完了です。

4

ユーザーの作成方法と チェックアウト・チェックイン

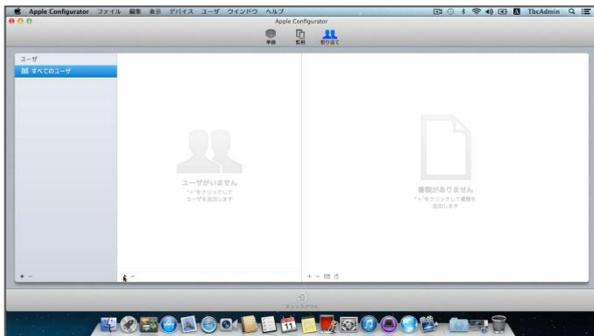
アプリ内の書類を一括同期するには、ユーザーを作成してチェックアウトを行うことで実現できます。ここでは、ユーザーの作成方法と、チェックアウト、チェックインについてご説明します。

2013年7月20日現在、Apple Configurator 1.3では、アプリ内の書類の同期に不具合が発生しております。この問題が解決しましたら、5.アプリ内の書類の同期方法の解説を追加する予定です。

この問題の詳細に関してははアップル社にお問い合わせください。弊社へのお問い合わせはご遠慮願います。

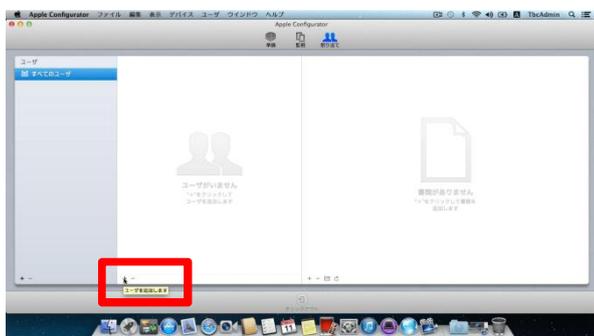
1.ユーザーの作成方法

1.Apple Configuratorの割り当て画面を開く



画面上の3つのボタンのうち、一番右側にある「割り当て」ボタンを押します。

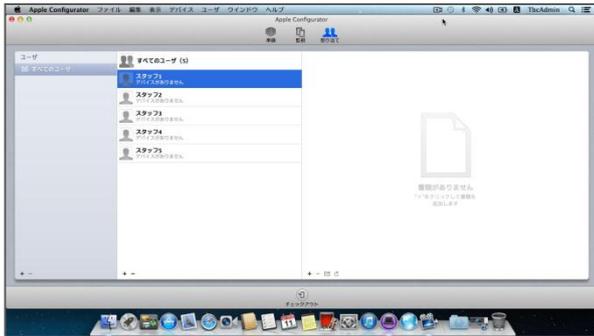
割り当て画面では、ユーザーを作成したり、作成したユーザーとiPadを紐付けしたり、アプリ内の書類を同期が行えます。



真ん中のカラムの左下にある「+」ボタンを押すと、ユーザーを作成できます。

ユーザー名を入力してください。





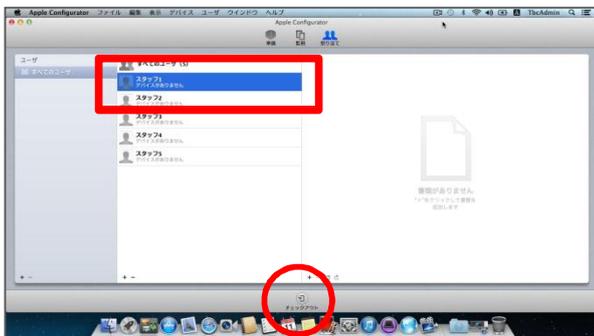
接続したiPadと同じ数のユーザーを作成します。



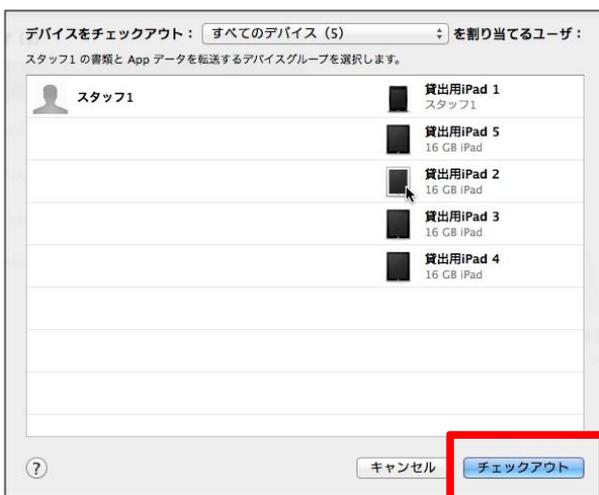
2.チェックアウトとチェックイン

1.チェックアウト

チェックアウトとは、監視状態にあるiPadとユーザーを割り当てることをいいます。iPadのアプリ内の書類を同期させるにはチェックアウト作業をする必要があります。



チェックアウトしたいユーザーを選択して画面下の「チェックアウト」ボタンを押してください。



選択したユーザーの右横に、監視状態にあるiPadが表示されます。

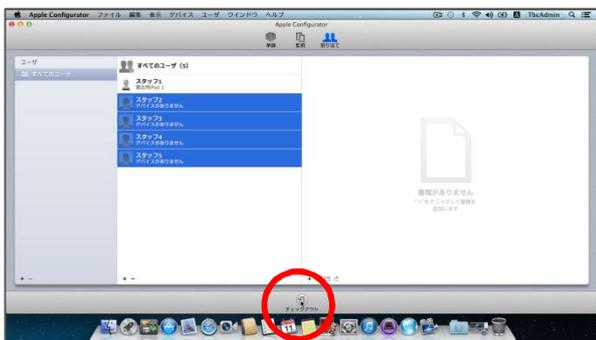
割り当てたいiPadのアイコンをドラッグして、ユーザー名の右に移動すると、iPadを指定することができます。

ユーザーの割り当てが完了したら、画面右下の「チェックアウト」をクリックします。



チェックアウトが完了すると、ユーザー名の下にデバイス名が表示されます。

「デバイスがありません」と書かれているユーザーはチェックアウトされていません。



複数ユーザーを一括で割り当てることもできます。ここでは、「スタッフ2」から「スタッフ4」までをチェックアウトします。

「スタッフ2」をクリックして、Shiftキーを押しながら、「スタッフ4」を選択すると、選択できます。選択できたら、画面下の「チェックアウト」をクリックします。



先程と同様に、割り当てたいiPadをドラッグして、ユーザー名の右に移動してください。

割り当てが完了したら、画面右下の「チェックアウト」をクリックしてください。

台数が多いと時間がかかる場合があります。

作業が終わるまでお待ちください。

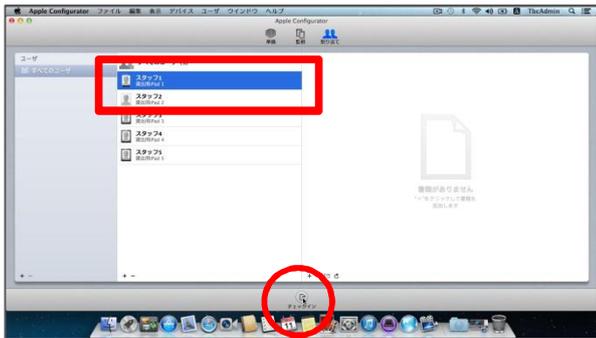


チェックアウト作業が完了すると、すべてのユーザー名の下にiPad名が表示されます。

これでチェックアウト作業は完了です。

2.チェックイン

チェックインとは、チェックアウトで割り当てたユーザーとiPadを解除することをいいます。



チェックインしたいユーザーを選択して、画面下の「チェックイン」ボタンをクリックします。



チェックインをしたユーザーは、ユーザー名の下に「デバイスがありません」と表示されます。

これで、チェックイン作業は完了です。

ユーザーを複数選択して、一度にチェックイン作業を行うこともできます。